

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2003-63923 (P2003-63923A)

【公開日】平成 15 年 3 月 5 日 (2003.3.5)

【出願番号】特願 2002-153925 (P2002-153925)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 7/00

A 6 1 K 7/06

A 6 1 K 7/075

A 6 1 K 7/08

A 6 1 K 7/09

A 6 1 K 7/13

A 6 1 K 7/48

C 0 7 C 209/12

C 0 7 C 211/63

C 1 1 D 1/62

C 1 1 D 3/20

【F I】

A 6 1 K 7/00 C

A 6 1 K 7/06

A 6 1 K 7/075

A 6 1 K 7/08

A 6 1 K 7/09

A 6 1 K 7/13

A 6 1 K 7/48

C 0 7 C 209/12

C 0 7 C 211/63

C 1 1 D 1/62

C 1 1 D 3/20

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 25 日 (2005.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 6】

使用される界面活性剤はアニオン性、カチオン性、非イオン性、両性および／または双性イオン界面活性剤である。有利な非イオン界面活性剤は、親水性基としてポリオール基、ポリアルケニルエーテル基、またはポリオール基とポリグリコールエーテル基との組合せを有している。2～30モルのエチレンオキシド、2～30モルのエチレンオキシドと一緒に5モルまでのプロピレンオキシドまたは5モルまでのプロピレンオキシドが炭素原子数8～22の直鎖状脂肪アルコールおよびアルキル基中炭素原子数8～15のアルキルフェノールに付加した付加生成物、グリセロールに1～30モルのエチレンオキシドが付加した付加生成物の(C₁₂～C₁₉)-脂肪酸モノ-およびジエステル、飽和および不飽和(C₈～C₁₈)-脂肪酸のグリセロールモノ-およびジエステルおよびソルビタンモノ-およびジエステル、およびそれらのエチレンオキシド付加生成物、(C₈～C₁₈)-アル

キルモノ - および - オリゴグリコシド類およびそのエトキシ化類似物、ひまし油および水素化ひまし油に 10 ~ 60 モルのエチレンオキシドが付加した付加生成物、エトキシ化および非エトキシ化モノ - 、ジ - およびトリアルキルモノリン酸エステル、特にモノ - 、ジ - およびトリ（ラウリルテトラグリコールエーテル）o - リン酸エステルおよびモノ - 、ジ - およびトリ（セチルテトラグリコールエーテル）o - リン酸エステルが有利である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

特に適する双性イオン界面活性剤はベタイン類、例えば N - アルキル - N , N - ジメチルアンモニウムグリシナート類、例えばココアルキルジメチルアンモニウム - グリシナート類、N - アシルアミノプロピル - N , N - ジメチルアンモニウムグリシナート類、例えばココアシルアミノプロピルジメチルアンモニウムグリシナート、2 - アルキル - 3 - カルボキシメチル - 3 - ヒドロキシエチルイミダゾリン類（これらはいずれもアルキルまたはアシル基中炭素原子数が 8 ~ 18 である）およびココアシルアミノエチル - ヒドロキシエチルカルボキシメチル - グリシナートである。